

平成22年2月2日

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 古河市立八俣小学校 担当教諭名 飯泉千恵子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成22年1月22日(金) 9:30 ~ 14:40
実施場所	八俣小学校 4教室 体育館
参加者と人数	6年生 76名(2クラス) 4年生 77名(2クラス)
派遣講師名と出身国	韓明玉(中国), ミラーマイクル(オーストラリア) イ・ジソン(韓国), シャエムディフォエズ(バングラディシュ)
活動の内容	第1部 6学年「地球発見! 世界の人とふれあおう」 グループワーク各コーナー30分間ずつ。4か国のうち2か国を選択。 (オーストラリア・韓国・中国・バングラディシュ) 講師の紹介 講師の先生から、国の文化、遊び、言葉、食べ物等についての講話。 質問タイム 体験タイムなど 全体会 体育館で4か国の講師の方のお話, ×クイズ, 体験タイム 第2部 4学年「世界はともだち」全体学習会 全体会 体育館で4か国の講師の方のお話, ×クイズ, 質問タイム, 体験タイム
コーディネーター	海原三枝
児童の感想	(4年生) ・いろいろな国の遊びや言葉などをクイズで知ることができました。とても分かりやすく説明してくれたので、よく理解できました。 ・初めて知ることができたことがいっぱいありました。中国と韓国には、羽をつけた物をける同じような遊びがあってびっくりしました。オーストラリアではカンガルーを食べ、中国では犬を食べるのにもとても驚きました。 ・4つの国の人たちと笑って、遊んで、話してとても楽しかったです。 ・日本と比べると言葉も遊びも全然ちがう中で、先生達が上手に日本語を使えるというのがすごいなと思いました。 (6年生) ・同じアジアの国でも、バングラディシュでは季節が6つもあったり、お金の単位も違って中国では一元=1.3円になったりして違うところがたくさんあり驚きました。 ・中国は一つの国の中で、56もの民族があって、その民族ごとに民族衣装が違うなどたくさん文化があることに驚きました。 ・実際に民族衣装を着せてもらい、世界の文化にふれることができました。 ・4か国の先生がそれぞれの国の遊びや文化、食べ物などを実際に遊んだり、クイズをしたりして教えてくれました。自分で調べて分からなかったことも分かったのでもとてもよい経験になりました。
先生の感想	・総合的な学習で国際理解教育としてワールドキャラバンを実施した。異文化に触れる機会の少ない児童にとって、世界4か国からの講師の先生方のお話を直接聞いたことは、とても貴重な経験になった。いろいろな国があり、いろいろな人がいることを肌で感じる事ができた。 ・講師のみなさんが児童に自国の文化等を理解してもらおうと実物を提示したり、事前の準備を十分になさって工夫して説明してくださりありがたかった。児童もとても喜んで、話に引きつけられていた。 ただ、今回は運搬の都合上、実物を持ってきてくださる方が少なかったのは残念だった。 ・ファシリテーターの方と昨年度の反省をもとに事前の打ち合わせを行った。いろいろなアイデアをいただいて昨年度の内容を改善する形で実施できたので、児童からのクイズ、講師の方からのクイズ、体験タイムなどで十分に交流することができた。

